

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 5月 30日

事業所名 おはなのいえ竹松本町

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			職員の見守りを徹底しています。また構造化に特化し部屋の使いかた、児童の動線に配慮した環境設定を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		当事業所では、第三者評価は行っておりません。重要事項説明書にも記載しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				個別療育の強化を図っています。個々に沿った支援法をスタッフ一同で査査し実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				チームとして支援ができるよう、偏らない役割に考慮しています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年にこだわらず、利用児童一人ずつ順番に毎日行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		当事業所では受け入れをしておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○		利用児童の年齢層も高い為、通う学校との連携は可能な限り図っていますが、就学後からご利用を始められて方が多く、幼少期に通う円との連携は残念ながらとれていません。ご家族、相談支援員様との連携を密にとり情報共有に取り組んでいます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				研修、連絡会には必ず参加させていただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		通常学級のお子様も多く利用児童の尊厳やプライドを守るための配慮は必要かと考えています。外出支援を通じ、イベントや活動に参加しながら可能な限りの交流を試みています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		当事業所でも相談、家庭でもできる支援方法などのお話をさせていただくことはあります。また、外部で行われるペアレントトレーニングの案内等をお伝えすることもございます。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				主に契約時や、変更がある場合は面談等で説明させていただいています。そのほかいつでもお応えできます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			面談時だけでなく随時受け付けております。話しやすい環境を整えています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				各月で昼夜の部に分け、毎月行っております。場所等につきましては事前には案内を配布するとともにInstagramにて周知しております。お昼の部は10:00～12:00 夜の部は19:30～21:30となっております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情受付については、竹松本町で行っております。苦情だけでなくご意見など保護者会を通じてもお聞きしています。ご遠慮なくご相談ください。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				主にSNSを配信しています。Instagramをぜひ確認されてみてください。
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		なかなか叶わない課題となっております。地域の方々との交流は挨拶程度になっております。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				新規検討のマニュアルもございます。面談時に周知徹底します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			利用児童の曜日に合わせ全員が必ず参加できるよう、避難訓練週間を設定しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○			ヒヤリハットが発見された場合に法入内で情報を共有していますが、足りない部分もあるのではないかと危惧しています。職員の意識改革のためにも事業所内研修や、発見しやすい取り組みを行っていこうと思っています。